

一般社団法人日本地域看護学会  
2020年度第2回理事会議事録

- I. 日 時 2020年11月8日(日) 13:30～16:00  
II. 会 場 Zoomによるオンライン会議  
III. 配信元 株式会社ワールドプランニング会議室  
(東京都新宿区神楽坂4丁目1番1号)  
IV. 出席者 理事長 宮崎美砂子  
副理事長 荒木田美香子\*, 田高 悦子  
理 事 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子,  
岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,  
田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗\*  
監 事 佐伯 和子, 村嶋 幸代  
事務局 筒井 愛, 野田 智己 (\*印は欠席者)

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。

V. 議 事

報告事項

1. 第23回学術集会について(河野理事)資料1

第23回学術集会は、2020年4月24日に開催方法を誌上発表へ変更し、学術集会長講演、公開講座の一部を動画配信とした旨を報告した。一般演題には発表のクレジットを付与することとし、参加費は返金、演者より演題登録費を徴収した。プログラムに取下げはほぼなく、一般演題166題、ワークショップ6題の申込があった。

8月25日～10月31日までの期間におけるHPへのアクセス数は1,715件で、市民公開講座の動画再生回数は781回であった。また、会計については、収入3,267,010円、支出2,674,028円で、592,982円が学会本体への戻し金となったこと、および、監事による監査が完了したことについても併せて報告した。

2. 第25回学術集会について(田村理事)資料2

第25回学術集会は、2022年8月27～28日に、富山国際会議場(富山市)において対面での開催を目指すこととし、2021年1月8日の企画委員会にて、運営体制、プログラム等を検討予定である旨を報告した。

また、学会誌が電子化に移行したことに伴い、学術集会チラシ・開催案内等を会員へ郵送すること機会がなくなったことから、第24回学術集会以降は学会負担で郵送することを決定した。併せて、企画委員会等で学会のZoomのIDを使用すること、もしくは新たに作成することについても認めることとした。

3. 会員数について(石丸理事)資料3

10月30日時点での会員数は、1,448人である旨を報告した。

4. 委員会報告について

1) 編集委員会(北山理事)資料4

第2回委員会を10月3日に開催した旨を報告した。学会誌の冊子体を取りやめ、電子ジャーナル化して3冊を発行したことから、会員へアンケート調査を行うこととなり、調査項目について内容を確認した。

また、英文での投稿についての問い合わせがあり、投稿規程では英文での投稿を認めていること、また今後、海外への情報発信も必要となることから、英文での投稿や査読体制などを整えていく旨を報告した。

2) 研究活動推進委員会(大森理事)資料5

第1回研究セミナー(10月2～18日:オンデマンド配信/10月10日:LIVE配信)を開催し、参加者は139名(会員101名・非会員8名・学生30名)であったこと、アンケート結果は

概ね好評であった旨を報告した。また、2021年3月に第2回目のセミナーをオンデマンド配信にて開催予定であること、セミナー終了後に過去2回分の会計報告を行うことを報告した。なお、オンライン開催の経費についても見積もりを基に確認し、参加費については当初の金額とすることとした。

3) 広報委員会（田村理事）資料6

7月27日に第1回委員会を開催し、昨年同様、広報のための質問紙アンケートハガキを作成し、学術集会の案内とともに公立病院地域連携室へ郵送予定である旨を報告した。

また、学会HPの確認については、月1回とし、閲覧者の視線に立ち、分かりやすいHPを目指すこととする。

4) 教育委員会（岸理事）資料7

「日本地域看護学会が提案する地域看護学の卒業時到達目標と内容・方法」について、資料を基に報告した。委員会内でも引き続き検討を行うほか、役員からも意見募集やメール審議を行い、2021年2月頃に学会HPにて公開を目指すこととする。

5) 国際交流推進委員会（河野理事）資料8

第24巻第1号に英文ニュースレターNo.20を掲載予定であることを報告した。また、英文ニュースレターについては、今後も学会誌の掲載記事の一部として取り扱うこととした。

当初2月28・29日に開催を予定していた第6回世界看護科学学会学術集会が新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催中止となったことについて、11月5日にWANSの理事会が開催され、会場のキャンセル料の免除等があり約800万円の黒字計上となった旨の報告があった。永田理事、村嶋監事より、該当収益はWANSとして有効活用していく方針である旨の補足説明がなされた。

6) 表彰論文選考委員会（上野理事）

2019年度表彰論文賞について、当初、第23回学術集会会期中の会員報告会での表彰を予定していたが、開催方法の変更に伴い、優秀賞1編、奨励賞2編の表彰状を作成し郵送したこと、受賞者の声を講演集に掲載したことを報告した。

また、2020年度表彰論文賞の選考を2021年1月に行う旨を併せて報告した。

5. その他

1) 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策保健所支援（積極的疫学調査）チームの派遣について（宮崎理事）資料9

厚生労働省の要望を受け、積極的疫学調査への会員の推薦を7月と10月の2回行ったことを報告した。立候補者は15名であり、今後も引き続き活動を継続していくこととした。

2) 全公連2020年度インターネット総会について（宮崎理事）資料10

全国公衆衛生関連学協会連絡協議会の2020年度総会がオンラインで開催されたことについて、資料を基に報告した。また、2021年3月26日を候補日とし、延期していた第2期学術集会を開催予定である旨を報告した。

3) 日本学術会議第25期について（宮崎理事）資料11

日本学術会議が推薦した105名の会員候補者のうち6名が任命されなかったことを受け、日本看護系学会協議会が内閣総理大臣へ「日本学術会議会員任命に関する声明」を提出したことについて報告した。

審議事項

1. 2020年度第1回理事会およびメール審議の議事録承認について（宮崎理事）資料12

議事録の内容を確認し、一部を修正のうえ、これを承認した。

2. 入退会者申請者について（石丸理事）資料13、回覧資料

入会申請者17人、退会申請者11人について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者3人については宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

3. 第24回学術集会の開催方法について（岸理事）資料14

第 24 回学術集会の開催方法について検討し、新型コロナウイルス感染症の収束がみえないことから、オンライン開催とする旨を決定した。オンライン開催にあたり、講演集は冊子体で作成する等の意見が出された。理事会セミナーについては、次回理事会で審議することとした。

4. 選挙管理委員会委員の選出について

選挙管理委員会の永田委員長、田村副委員長より、陶山公子氏（富山大学）、山本なつ紀氏（慶應義塾大学）が推薦され、これを承認した。2021 年 1 月の役員選挙に向けて、準備を進めている旨を報告した。

5. 健康危機管理支援システム案について（宮崎理事）資料 15

大規模災害等健康危機発生時において、厚生労働省、自治体、関係団体などから支援要請を受けた場合に、本学会として速やかに対応できる支援体制として「日本地域看護学会健康危機管理支援システム」を構築し、今後、運用していくこととした。システムに関する申し合わせ・フローチャート・申請書・活動日報・復命報告書等の内容について、資料を基に確認した。

6. 賛助会員の入会申請・学会 HP の企業広告について（宮崎理事）資料 16

賛助会員の入会について、9 月に実施したメール審議結果を報告した。企業が賛助会員として入会することについては概ね賛成であったが、賛助会員として入会した企業の広報の一環で学会 HP への広告掲載等を認めるかに関しては意見がわかれ、社員総会に諮ることとした。

また、正会員を含めた会費に関する規程や申し合わせを作成してはどうかとの意見が出され、今後検討することとした。

7. その他

1) JANA 役員選挙について

日本看護系学会協議会より、役員選挙の開催に伴い、理事 1 名、監事 1 名の被選挙人推薦の依頼があり、候補者を検討した。他学会より推薦を受けていないことが条件となるため、当学会では監事の推薦は行わないこととし、他学会の推薦を受けていない場合には、本学会より荒木田理事を理事として推薦することとした。

以上